

平成 27(2015)年 6 月

公益財団法人 国際仏教文化協会 平成 26 年度 事業報告

公益財団法人 国際仏教文化協会

当協会は、当協会定款第 3 条「大乘仏教の持つ現代的意義を究明し、欧州等の人々の研究に便宜を与え、東西文化の交流を図り、もって我が国の発展と国際平和に寄与することを目的とする」に基づき、「公益目的事業 1」として、欧州等における大乘仏教思想・大乘仏教文化の振興に対する助成およびシンポジウム・講演会等の開催を主事業とする。その趣旨は、欧州等における大乘仏教の思想・文化の振興に対する助成を通じ、これらの地域における大乘仏教思想・大乘仏教文化への理解を深め、日本古来の精神文化の柱である大乘仏教の振興に資するものとし、平成 26 (2014) 年度事業計画に基づいて下記の通り具体的な事業を推進した。

1. 公益目的事業 1 (振興事業) :

各末尾符号 (「(1)」等) は定款第 4 条規定の対応する事業項目 (号) を示す

(1) 公益目的事業 1 (1) : 研究助成事業 (大乘仏教の研究活動やその成果の出版等の費用、研究者の日本への留学費用等の助成によって振興を図る)

① 機関誌発行 :

事業の経過・成果などを報告する機関誌『IABC NEWS no. 50』を編集・発行し、国内外の関係者、支援者、有縁の人々に配布し、事業啓蒙した。— (1)

② 仏教書印刷発行と普及 :

欧州等における、欧州語等による仏教書 (各グループの機関誌を含む) の印刷・発行の助成と普及、並びに欧文の仏教書の編集発行について、[表 1] のように助成を行った。— (2)

なお、欧文ジャーナル『Shin Buddhist 10』の編集発行について、理事会のもとに設置の編集委員会で編集にあたった。当期は、前期からの継続作業で 4 月 8 日に事務所で編集委員会を開催、その後はインターネットにより校正などの作業を進め、9 月 10 日発刊、国内外の関係の機関、有縁の関係者たちに配布した。

③ 欧州等の仏教関係機関への物心両面の支援 :

選考委員会 (名称を審査委員会から当該名称に改める) での選考に基づき計画通り、[表 1] のように、欧州等における各グループへの支援助成を行った。— (3)

[付記] 上記②にいう編集委員会、③にいう選考委員会については明細書に記す。

[表 1] (7) 欧州等の仏教関係機関への活動支援、(イ) 仏教書印刷発行と普及の明細

助成対象	代表者・地域など	(ア)活動助成費	(イ)出版助成費	助成費合計額
ベルギー、アントワープ・サンガ	F. Martens, Antwerpen	450,000	150,000	600,000
ドイツ：シン・サンガ	M.Nottelmann, BGJ-D	550,000	150,000	700,000
オーストリア・サンガ	F. Fenzl, Salzburg	50,000	60,000	110,000
スイス：シン・サンガ	J. Ducor, Geneva	0	0	0
同（妙順寺センター）	Marina Bezencon	0	0	0
英国：PLBFChomon House)	G. Robinson, Southampton	500,000	100,000	600,000
ルーマニア：他力道場サンガ	A. Cirlea, Craiova	400,000	0	400,000
アラスカ：白蓮華・サンガ	Diane Johnson, Alaska	130,000	70,000	200,000
オーストラリア・サンガ	J. Paraskevopoulos	0	50,000	50,000
NCC 宗教研究所	高塚郁男, 京都	300,000		300,000
合計額		2,380,000	580,000	2,960,000

(2) 公益目的事業 1 (2)：振興活動支援事業（大乘仏教の研究に関するセミナーやシンポジウムの開催に対する助成、研究者の日本への留学費用の助成によって振興を図る）

① **ヨーロッパ真宗会議開催の支援**：隔年開催のヨーロッパ真宗会議（大乘仏教の一つの究極たる他力回向の思想と大乘仏教の諸思想との対論によって大乘仏教の思想理解を深めあい一般に啓蒙する会議）の第17回を2014年9月1~4日に英国・サウサンプトンで開催、その準備業務、会議進行等を議長担当の Gary Robinson を中心に進め、会議開催に対する全面的支援を行った。ヨーロッパ各地の各機関のみならず、米国、カナダ、ハワイ、ネパール、日本からの参加があり、総勢75名余の参加となり、相互理解と討議の有意義な会議となった。

② **講師派遣**：ドイツ・デュッセルドルフの恵光ハウス日本文化センターで、毎年開催の仏教セミナーに日本から講師を派遣するについて、当期は石田法雄教授（滋賀県立大学）を派遣、その派遣費を支援した。欧州等から集まった参加者は大乘仏教思想を語り合う好機を得た。

③ **奨学助成**：1) 欧州等から来日して大乘仏教思想・文化を学ぼうとする者を招聘奨学生として、2) 本邦から欧州等に出て広く宗教学などを学び学際的な視野をもって大乘仏教の振興に寄与しようとする者を派遣留学生として、また3) 短期間のセミナー（大乘仏教思想等を研鑽するセミナー等）に、来日あるいは渡航して参加し、大乘仏教の理解を深め一般にも啓蒙、普及しようとするものを短期研修留学生として、それぞれ採用して助成する。理事会のもとに設置の選考委員会（これまでの審査委員会を名称変更）で採用の適切性を判定する。本年度は、下記の留学生を採用。

留学生：新作慶明（東京大学大学院博士後期課程在学中、インド学仏教学専攻）

『ブラサンナパダー』（『中論註：浄明句論』）の写本研究。オーストリア科学アカデミーアジア文化・思想史研究所にて Anne MacDonald 博士に師事、8か月間の留学。奨学金：1,200,000 円+旅費

④ **報告と講演の会**：当協会事業活動・第17回ヨーロッパ真宗会議の報告とともに大乘仏教文化にかかる講演等の会を開催。当年度は、折しも、公益財団法人仏教伝道協会主催による仏教文化賞（沼田奨励賞）を、スイスのジェローム・デュコール（ジュネーブの民族博物館東洋部

長、スイス・シン・サンガ代表：仏典のフランス語訳、博物館での仏教文化紹介に貢献）が受賞したので、受賞祝賀会として、氏を招待、相互交流をはかるとともに、海外での仏教文化受用の状況を語り合う機会をもった。有縁の者 31 名が参加。

平成 26 年 10 月 15 日(水)18:30~20:30 に京都タワーホテルにて、報告・祝賀の会 開催。

2. 協会運営：協会の庶務の概況

上記の公益事業を推進するための協会体制およびその運営を、前期と同様に次のような役員会、委員会等を組織し推進した。

(1) 役員会等：理事会、評議員会（決算、予算、事業報告、事業計画の件等の審議及び推進）

役員等は、定款第 14 条「評議員 3 名以上 6 名以内を置く」および第 29 条「この法人に次の役員を置く。(1) 理事 3 名以上 6 名以内 (2) 監事 1 名」に基づいて、平成 25 年 4 月に次の通り選任・就任している。(備考欄に本務を付記する)

	氏名	就任年月日	担当職務	報酬	備考
評議員	金児 慧	H25.04.01.	評議員会議長	無	本願寺派寺院住職
	江里 康慧	H25.04.01.	評議員	無	仏師
	寺井 良宣	H25.04.01.	評議員	無	天台真盛宗寺院住職
代表理事 理事	佐々木恵精	H25.04.01.	代表理事（理事長）	無	元京都女子大学教授
	井筒与兵衛	H25.04.01.	理事（副理事長）	無	(株)井筒社長
	柏原 信行	H25.04.01.	理事（常務理事）	無	真宗大谷派寺院住職
監事	松本 和也	H25.04.01.	理事会業務監査	無	税理士

(注記) 報酬について、基本的に無報酬であるが、事務的業務が過重となった場合は、その報酬を供する。

(2) 職員に関する事項：理事会業務執行にあたり、協会事務処理業務を下記の体制で執行する。

職名	氏名	就任年月日	担当業務	報酬	備考
事務局長	寺本 知正	H25.04.01.	事務・会計業務総括	(有)	(注記)
事務局次長	柏原 信行	H25.04.01.	事務局業務	(有)	(注記)
会計(経理)	佐々木朝美	H25.04.01.	会計(経理)業務	有	
庶務・渉外	金児 慧	H25.04.01.	財政・渉外業務	無	
	寺本 知正	H25.04.01.	海外の渉外業務	無	

(注記) 基本的に無報酬であるが、事務局業務が過重になった場合、その報酬を供する。

(3) 理事会のもとに選考委員会、編集委員会、実行委員会を設置して、業務推進にあたる。

3. 会議に関する事項

①理事会

開催年月日時・場所	議 案	審 議 結 果
第1回理事会 平成26年6月10日(火) 13:30～15:00 協会事務所にて	1. 平成25年度事業報告並びに決算書類の承認の件 2. (報告事項) 理事長業務報告の件 3. 評議員会招集の件	1. 前期の事業報告と決算報告について、事業報告書並びに決算書類を議場に提示、慎重審議の結果、満場一致、原案通り承認可決。 2. 理事長より当期当初～5月の業務執行状況の報告を議場に提出、議場はこれを了承。 3. 評議員会での決算承認を得るために、議案を提示の上、評議員会招集の案内をすることを議場に諮りたるところ、議場は満場一致、これを承認。
第2回理事会 平成27年3月26日 18:30～19:45 京都タワーホテル 「雅の間」にて	1. 平成26年度補正予算の件 2. 平成27年度事業計画案の件 3. 同 予算案の件 4. 理事長業務執行状況報告の件 5. 「資産調達及び設備投資の見込みについて」承認の件	1. 当初予算に変更を加える必要が生じ、補正予算を組んだこと、およびその案を議場に諮り、議場は慎重審議の結果、満場一致、これを承認。 2. 平成27年度事業計画案を議場に諮り、議場は慎重審議の結果、満場一致、これを承認。 3. 同 予算案を提示、議場は慎重審議の結果、満場一致、これを承認。 4. 理事長より提出の、平成26年6月～平成27年3月初旬の理事長業務執行状況報告について、議場は満場一致、これを了承。 5. 当期中の借入れ、重要な設備投資の予定のないことを議場に報告、議場は満場一致、これを承認した。

②評議員会

開催年月日時・場所	議 案	審 議 結 果
第1回評議員会 平成26年6月27日(金) 18:30～20:00 京都タワーホテルにて	1. 議長選出の件 2. (報告事項) 理事会審議の報告 3. (報告事項) 理事長業務報告の件 4. 平成25年度事業報告書の報告並びに決算・決算書類の承認の件	1. 本会議の議長に金児慧評議員を選出。 2. 3月に開催の理事会の審議結果を議場に報告、議場は満場一致、これを了承。 3. 理事長より提出の、前期末～5月の理事長業務執行状況の報告について、議場は満場一致、了承。 4. 6月10日開催の理事会で承認された前期事業報告の報告について、議場は満場一致、了承。また同じく前期の決算並びに決算書類の承認について、資料に基づき審議、議場は満場一致、承認。

③理事会のもとでの各委員会

- 1) **選考委員会**（もと審査委員会の呼称を呼称変更）：平成 27 年 3 月 26 日（木）17:00～18:20 に京都タワーホテルにて開催の選考委員会で、指定期間内に申請のあった助成申請について、審査選考、助成額を決定した。
- 2) **編集委員会**：欧文ジャーナル『Shin Buddhist 10』の編集を前期より継続して推進、その発刊を完了し、その後、Shin Buddhist 11 への編集にとりかかた。平成 26 年 4 月、同 27 年 3 月にそれぞれ編集会議を開催、その間に E-mail などによる委員間の連携によって編集作業した。

4. 主管官庁の許可・認可および承認を受けた事項

5. 行政官庁指示に関する事項

6. 契約に関する事項

以上の諸事項について、該当事項なし。

7. 寄付に関する事項

当期内の当協会支援として受領した寄付金は下記の通り。（単位：円）

寄付の目的	寄 付 者	申 込 金	領 収 金	備 考
基本財産・事業推進のための支援	稲垣久雄様 (1,000,000 -) ほか 合計 53 件	2,577,270-	2,577,270-	
寄付金合計		2,577,270-	2,577,270-	

8. その他の重要事項

当該事項なし。

以 上、 平成 26 年度事業報告（了）